

しまづ  
はるか **重要視していること**  
私たち世代も子どもたち世代も、これからも高砂に住み続けられるように

後の世代に  
負担を  
かけない

未来志向

多様な社会に  
対応した  
政策

### 限られた財源で、できることを提言

現在の高砂市政はやりたいことをすべてできるほどの豊富な財源はありません。今後、新庁舎の建設や給食センターの建設、これまでから続いている治水対策事業など、多額の予算が必要となる事業も予定されています。

私たち世代が安心して高砂に住み続ける、そして子どもたち世代が高砂に住み続けられるためには、将来世代に財政的な負担をかけるはなりません。そのためには、計画的な財政運営が必要です。

ただ、自由に使える予算は少ないものの、だからといって必要な行政サービスを停滞させてはなりません。これまでの一般質問や議会での質疑の中でも、民間サービスの導入や少ない予算でもできる取り組みなど、満足度を高め、支出を抑えるための提言を行ってきました。

### 子どもたちや若者自身と向き合うことを重視

子育て世代にも安心して暮らせるまちにしたい。子育て施策や教育施策で実現したいものは多くあります。待機児童ゼロとはいえ希望する園に必ずしも入ることができるわけではない現在の環境の改善、学力だけでなく人間力を高める教育など、重視していることは多々あります。その中でも、前提として重視していることが、「大人の都合」だけで物事を考えないことです。まちの未来を担うのは、子どもたちや若者です。子どもたちには選挙権がないからこそ、その世代自身と向き合い、政策を考えるべきと提言してきました。

### 多様性がカバーされている政策かどうかをチェック

社会がどんどん多様になっている現代社会では、行政サービスも多様な社会に対応できるものでないといけません。多様な方々に対応した政策となっているかどうかは重視してチェックしています。

あれもこれも、と対応するとどうしても幅広いサービスになってしまいがちですが、ユニバーサルデザイン(※)という考え方もあります。いかに1つのサービスで幅広い範囲をカバーするか、また、施策に取り残されている対象者はいないか、注意して施策をチェックしてきました。

※ユニバーサルデザインは、障害の有無や年齢、性別、人種などにかかわらず、たくさんの人々が利用しやすいように製品やサービス、環境をデザインする考え方です。

#### しまづはるか後援会

〒676-0071 高砂市伊保東2丁目2-23

TEL/FAX:079-439-2733

Mail:shimazu.takasago@gmail.com



<Facebook:島津明香>



<ブログ>

We♥高砂 高砂市議会議員

## しまづ はるか 後援会報

18号 2018年

若い視点  
で未来を  
創る



#### プロフィール

島津明香/しまづはるか 30歳

1987年高砂市生まれ。伊保小学校・竜山中学校・岡山白陵高校を経て、関西学院大学文学部・一橋大学商学研究科で学ぶ。2014年高砂市議会議員選挙にて、2658票を獲得し初当選。

# 1期目通信簿

# しまづはるか1期目の取り組み

## しまづはるか1期目の通信簿

※これまでの議会質問（一般質問のみを掲載）

平成26年9月定例会から平成29年12月定例会までに行った一般質問を自己評価しました。

平成30年3月現在

テーマ	質問内容	時期	評価	動きのあった取り組み
市の広報	市の広報の充実	平成26年12月	△	
	パブリックコメントの充実	平成27年3月	◎	市ホームページのトップページにバナー掲載
	市情報のLINEでの情報発信	平成27年3月	△	
	結びのまちとプライダル都市との棲み分け・発信	平成28年12月	△	
市民活動	住民の意見を取り入れる仕組みづくり	平成27年6月	△	
	シニア世代の活動の場の拡大	平成28年3月	△	
	貸館など施設予約の改善	平成29年12月	○	公民館・教育センター等の予約が平成30年度より施設予約システムで可能に
若者	若者施策担当部の創設	平成27年12月	◎	平成29年4月よりこども未来部創設
	若者世代のニーズ把握	平成28年12月	○	平成29年度若者アンケート実施
女性	女性活躍施策の充実	平成28年3月	○	こども未来部にて女性活躍施策実施
	乳がん検診の対象拡大・啓発	平成29年6月	△	
雇用	新卒・第二新卒求職者への情報提供	平成27年9月	△	
産業	オープンデータの推進	平成29年6月	△	
交通	コミュニティバスの通勤手段としての活用の充実	平成26年12月	△	
	コミュニティバスに限らない多様な交通の拡大	平成29年9月	△	
投票率	投票日の周知の充実化	平成26年9月	△	
	投票の啓発促進	平成26年9月	○	投票方法の動画配信など
	選挙公報のWeb掲載	平成26年9月	◎	平成28年4月の高砂市長選挙より掲載
	選挙権18歳引き下げへの取り組み充実	平成27年12月	○	高校生の選挙事務補助、18歳・19歳への広報誌送付など
	選挙コンシェルジュの導入	平成27年12月	△	
慎重な対応を求めたもの				
交通	道の駅構想への慎重な対応	平成28年9月		
教育	小中一貫教育への慎重な対応	平成28年6月 平成29年9月		

凡例：◎：具体的に実現 ○：実現に向けて動いている △：現時点では進展なし

※実現をしたものも、しまづはるか1期目の主張のみで実現したわけではありません。議会議員には執行権はなく、提言することしかできません。これらの実現は、他の議員の方々の主張ももちろんのこと、市長の決定や行政職員の方々の努力があって実現したものです。  
※それぞれの主張の背景には、たくさんの方々にいただいたご意見があります。ご意見をお寄せいただき、本当にありがとうございます。

1期目の前半は、若い世代の声をいかに行政に届けるか、若い世代のことをどう行政にも考えてもらうかということに主眼を置いて取り組んできました。△が多く、実現していないものも多数ありますが、平成29年度にはこども未来部が創設され、若者世代を対象として専門的に取り組む組織ができました。こども未来部の創設もあり、1期目後半は若い世代の声を届けるだけでなく、「私たち世代の将来、また未来を担う子どもたち世代のために、どのような高砂市としていくべきか」ということに主眼を移し、提言を続けてきました。オープンデータの取り組みなど、前向きな答弁をいただいたものもあるものの、まだまだ道半ばである点が多々あります。残された任期も提言を続け、今後に繋がりたいと考えています。

## もっと勉強が必要だと感じた1年目。積極的に研修に参加。

選挙で当選し、議員バッジをつければ20代も70代も同じなのが議員の世界。しかしながら、人生経験にはもちろん差がありますし、様々なご意見をいただく中で、もっと勉強しなければと感じました。当選前から所属していた関西若手議員の会での研修や全国市町村アカデミーなどの議員研修に積極的に参加し、実践的な知識を増やしました。

## やるべきことがより鮮明になった2年目。1年目からの研修成果も発揮できるように。

若い世代についてや女性向けの施策など、自身の身の回りの課題を提言した2年目。女性議員での報告会を開催するなど様々な声を集めながら、1年目から継続的に参加している研修の成果を議会質問で発揮しつつ提言を行いました。また、市議会だより編集委員会の委員長も初めて務めさせていただき、議会広報を促進させるべく、紙面の充実に努めました。

## 考えや、やるべきことが成熟されてきた3年目。初めての代表質問に挑戦。

全国の同世代議員とのネットワークが形成され、Web会議や合宿などを通じて情報交換・意見交換を重ねました。高砂市内の皆様からいただくご意見を同じ価値観をもつ同世代議員とのやりとりの中で成熟させ、提言に反映させることができました。平成29年3月定例会での初めての代表質問では、20代の議員としても「高砂の未来像」を市長と共有するべく、訴え、提言として議会の場で投げかけました。



## これまでの取り組みをより深く前進させるべく活動している4年目。

若い世代に対する施策や女性に関する施策など提言してきたことが、国や市の政策の方向性も相まって形になりつつあります。これらについては、今後の動向を確認するとともに、さらによりよい環境が整えられるよう、確認していきます。また、さらに希望が持てるまちになるよう、先進的な取り組みのうち高砂市に合うものを積極的に提言し、多様な社会の中で多くの方が満足できる取り組みを提言することに目を向けています。

## 4年間を通して

年4回の後援会報の発行や市政報告会の開催、日々ブログやSNSでの情報発信など、議会活動の発信に努めてきました。情報を発信し、多くの方々からご意見をいただくことが大切と考えています。



### 1期目の主な役職等

- <2年目>
  - ・文教厚生常任委員会副委員長
  - ・市議会だより編集委員会委員長
- <3年目>
  - ・総務常任委員会副委員長
  - ・市議会だより編集委員会委員長
- <4年目>
  - ・建設環境経済常任委員会副委員長
  - ・市議会だより編集委員会委員長



### 過去の所属委員会

- ・地方創生総合戦略策定等調査検討特別委員会
- ・行政経営調査検討特別委員会



<ブログ>



<Facebook:島津明香>